

		月	火	水	木	金	土
午前 9:00 ~ 12:00	内科		室生(第1週) 稲波(整) (第2週以降)	高坂(9:30~)	清水	室生	高田
	内科/リウマチ科	稲波(宏)			稲波(宏)		稲波(宏)(隔週)
	循環器内科	黒田	武本	廣田	室生	稲波(整)	室生(隔週)
	消化器内科	佐伯(9:30~)	前川	佐伯(9:30~)		大谷	
	糖尿病内科				菅原		
	心臓弁膜症センター	岡田				岡田	
	外科		荒井	木戸	齋藤		齋藤(第3土曜)
整形外科	担当医					担当医	
午後 14:00 ~ 15:30	予約制	糖尿病内科 菅原 (13:30~)	稲波(宏)		室生	佐伯	
夜間 17:00 ~ 19:00	内科 I 診	前川		佐伯	稲波(宏)	室生	
	内科 II 診	新倉		羽深	新倉	大竹	

- 診療科目 内科・循環器内科・消化器内科・リウマチ科・人工透析内科・腎臓内科・内視鏡内科・糖尿病内科・呼吸器内科  
外科・心臓血管外科・消化器外科・整形外科・リハビリテーション科
- 受付時間 午前診8:30~11:45 午後診13:30~15:15(予約制) 夜間診16:30~18:45 ☆急患は随時受付いたします。
- 病床数 108床(一般) ●面会時間 月~土15:00~20:00 日祝日11:00~20:00

## ご近所の開業医の先生のご紹介 No.4

### 医療法人社団 あらき整形外科

診療科目 整形外科、リウマチ科、  
リハビリテーション科  
住所 神戸市西区王塚台7丁目33番  
電話 078-921-1224  
院長 荒木邦公



平成7年に王塚台に開業して20年が過ぎました。当時は西区での整形外科の開業は少なく、整形外科関係は勿論、地域の医療に関して出来るだけの事はやろうと頑張ってきました。今では西区の整形外科の開業医も10人を超え神戸市9区でも整形外科として大きな力となっています。整形外科の入院が必要な症例あるいは整形外科以外の疾病の合併症など、みどり病院の先生方に紹介させて頂いています。かなり無理な症例も引受けて頂き、また入院の必要な患者さんを引き受けて頂き大変感謝しています。

地域医療への貢献を目指して、王塚台6丁目から王塚台7丁目への近距離移転をし、デイケアを新たに立ち上げました。これからの地域医療は病院、診療所、介護関係の職種とも連携がさらに密に必要となっています。微力ですが出来る限り地域に貢献できるよう頑張りたいと思います。

みどり病院の先生、事務局の皆様はじめ、西区の先生方にも引き続きご面倒をおかけすると思いますが何卒よろしくお願ひ致します。

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
15:30~19:00	○	○	○	○	○	○

### アクセス



#### 公共交通機関をご利用の場合

- JR明石駅・山陽電車明石駅より → 神姫バス(東1)乗り場 西神中央駅、三木・社、押部谷方面ゆき(約15分) → 変電所前下車 → 枝吉交差点を西へ(徒歩約5分)
- 新幹線・JR西明石駅 → タクシーを利用(約10分)
- 地下鉄西神中央駅より 神姫バス⑦番乗り場明石駅ゆき(約25分) → 変電所前下車 → 枝吉交差点を西へ(徒歩約5分)

#### マイカーをご利用の場合

- 国道2号線と坂交差点から国道175号線を北上、枝吉交差点を西へ約150m
- 第2神明道路玉津ICで降り、国道175号線を南下、枝吉交差点を西へ約150m

所在地: 〒651-2133 神戸市西区枝吉1-16  
TEL (078) 928-1700(代) FAX (078) 928-1772

ホームページもご覧ください!!

<http://www.midori-hp.or.jp>

# みどりの風

2016年5月25日発行  
No.24

医療法人社団 倫生会  
みどり病院

編集発行/みどり病院 広報委員会

## 消化器専門外来のご案内

みどり病院では胃腸などの消化管疾患、胆道・膵臓や肝臓疾患の専門外来を開設しています。

当院では、常勤2名と非常勤1名の消化器内科医師で診療に当たっており、患者さんのお話を丁寧に伺って診察させていただくことを基本としています。少数精鋭のスタッフのもとで、患者さんの病状に応じたきめ細かい対応を行い、安心して検査・治療を受けていただけるように努めています。

上部消化管内視鏡(胃カメラ)については、2007年より経鼻内視鏡を、2015年からは特殊光(NBI)による観察も可能な最新のシステムを導入し、必要に応じて鎮静下での検査も行い、患者さんへの負担の少ない検査を心がけています。当日の胃カメラをご希望の方についても、できるだけ対応させていただきますので、どうぞお申し出下さい。下部消化管内視鏡(大腸カメラ)についても多数例を手がけ、患者さんがつらい検査の提供に努めております。

内視鏡治療にも力を入れており、胃、大腸とも早期癌などの内視鏡治療、特に早期胃癌に対しては最新の治療方法である内視鏡的粘膜剥離術(ESD)を積極的に行っています。また、吐血・下血など、消化管出血に対する緊急内視鏡検査および内視鏡治療などに積極的に取り組んでいます。

胆道・膵臓疾患に関しても、胆嚢炎・胆管炎

に対する経皮経肝胆道ドレナージ、総胆管結石の内視鏡的治療や、膵臓癌や胆道癌など悪性疾患由来の黄疸に対する減黄療法なども積極的に行っています。

肝臓病については、当院ではウイルス性肝炎の治療に積極的に取り組んでおり、脂肪肝などの慢性肝疾患や肝臓癌など肝腫瘍の診断・治療にも力を入れています。

肝臓はもの言わぬ臓器とも言われ、病気になってもよほど進行しないと症状があらわれませんので、早めの検査や治療が必要です。

「おなかの調子が悪い」「消化器の病気が心配」という方は、急性・慢性の症状を問わず、是非ご相談下さい。なお、手術が必要と判断される場合には、消化器外科との連携を密にして、すみやかに治療のできる体制をとっております。



### みどり病院心臓弁膜症センターからのお知らせ

岡田功医師(心臓血管外科)、室生卓医師(循環器内科)は、岡本クリニック(JR・阪急三宮駅神戸交通センタービル6F)でも診療を行っております。火曜日(9:30~13:00)第1週 岡田医師、第2週以降 室生医師

みどり病院へのお問い合わせは

電話 078-928-1700(代)



医療法人社団 倫生会

みどり病院



## 糖尿病専門外来を開始しました

4月よりみどり病院で、主に糖尿病の外来を担当いたします菅原健二と申します。

糖尿病は、日々の生活習慣と密接にかかわる病気です。薬による治療方法も日々進化していますが、よい食事や適度な運動を根気強く続けることが最も大事です。みなさまと一緒に考えながら、よりよい健康のため少しでもサポートができればと思っています。これからどうぞよろしくお願ひ致します。

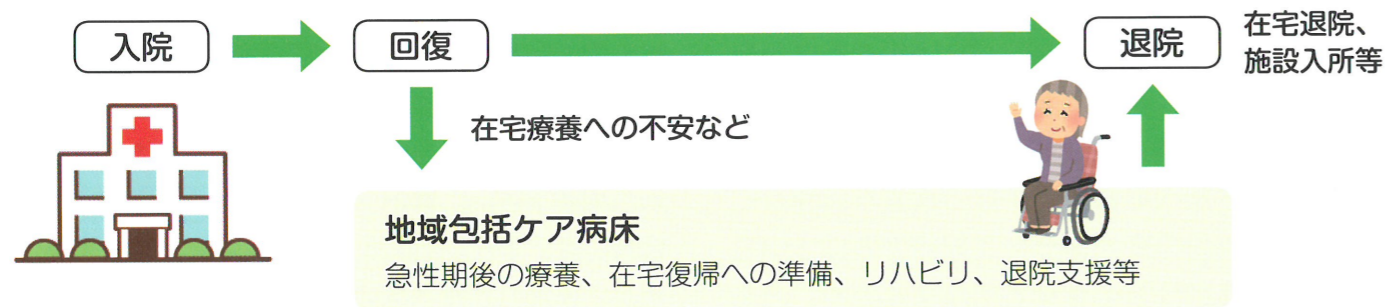


**診療時間** 月曜 午後1:30～、木曜 午前9:00～(予約制)

## 平成28年4月1日より地域包括ケア病床を導入しました

### 地域包括ケア病床とは

- 急性期の治療が終了し、患者さんが元気に安心してご自宅等へ退院できるよう、準備をしっかりと整えるための病床です。
- 医師、看護師、病床専従のリハビリテーションスタッフ、医療ソーシャルワーカー等が協力し、患者さんの在宅復帰に向けて退院支援、退院後のケアについて全力でサポートさせていただきます。



### ご相談・お問い合わせ

地域包括ケア病床についてのご相談やお問い合わせは、地域連携室までおたずねください。

ちょっとカラダにいい話

## 乙女ないちごのミルク甘酒

### 【材料】(2人分)

- \*甘酒 180ml～200ml
  - \*牛乳 360ml～400ml
  - \*いちご 5粒～お好みで
- 甘酒：牛乳＝1：2になるようにしてください

- ①鍋に甘酒と牛乳を入れ、温める
- ②温まったらカップに注ぎ、つぶしたいちごを入れまぜる



## 新入職員紹介

4月1日から新しく、医師1名、看護師5名、理学療法士2名、薬剤師1名、臨床検査技師1名が入職いたしました。

新入職員の中には、経験を積んだベテランもいれば、社会人1年生もいて、経験はさまざまです。

「患者様への笑顔や声掛けを忘れず、その身になって考え行動し、患者様が安心、笑顔になれるような素敵なスタッフになれるよう頑張ります。」



## ご当地今昔物語 第6回 明石原人の話

直良信夫(なおら のぶお)(1902～1985)は悲劇の考古学者だ。大分県臼杵に生まれ、尋常高等小学校卒業後、正規の学歴がなく、従ってアカデミズムには属さなかったため、学界からは白眼視される存在だった。

1931年、明石の大蔵谷で結核の保養中、西八木海岸で、更新世の人類(腰の)寛骨の化石を発見した。これが、のちに「明石人骨」と呼ばれ、当時の新聞を賑わしたが、その後、忘れられてしまった。

この化石人骨は数奇な運命をたどっている。発見後、一時的に東大などに貸し出された以外、常時、直良の手元にあったが、直良の上京にともない東京に移り、1945年、空襲で自宅とともに焼失してしまったのだ。これでは、あとから反対意見が出てきても、標本の現物で検証することができない。

それが再び注目を浴びるのは、第2次世界大戦後。標本の精密な複製(石膏模型)が東大に残っていた。1947年、それに気付いた長谷部言人(はせべ ことんど)(1882～1969)により、この骨の主(ぬし)は「明石原人」と命名されて、しばらくの間、ジャワ原人(1891年発見)や北京原人(1929年発見)と同じく、原人のものと考えられてきた。

ちなみに、年代的には、原人→旧人(ネアンデルタール人)→新人(クロマニオン人)の順に地上に現れたと考えられ、現代人は、この新人の系統に連なる。しかし、その後、新進の研究者たちは、明石人骨は原人ではなく新人のものだ、と言い始めた(1982年)。

それが三たび注目されたのは、1985年、直良が世を去る直前。国立歴史民俗博物館の春成秀爾(はるなり ひでじ)(1942～)が、直良が明石人骨を発見した地点は既に浸食により海没していたので、その近傍の陸地を発掘調査した。しかし、明石人骨と同時代の加工の痕跡が残る木片を発見したにとどまり、原人の同定には至らなかった。

では今、その石膏模型は、どこにあるのだろうか？オリジナルは東大にある。ただし、再度それから型を取ったレプリカは、明石市立文化博物館にもある。(事務局 津田明彦)

※参考文献 発掘された明石の歴史展「直良信夫と明石」(明石市立文化博物館、2005)

